

文化庁委託事業

平成21年度「生活者としての外国人」のための
日本語教育事業
(日本語教室の設置運営)

実施内容報告書

まんのう町国際交流協会

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 まんのう町国際交流協会

1 事業の趣旨・目的

まんのう町近隣には、日系人や外国人妻が多く在住している。彼らの地域への適応、またその子どもの学校生活への適応も含めた日本語教育はもちろんであるが、家庭の悩みの相談や同じ国から来た人と話ができる場も要望されている。

地域への適応のため、教材の内容もごみの出し方や香川の方言、教科の名前や時間割など生活していく上で必要な単語や表現を盛り込み、生活に必要な日本語の習得及び香川県独特の風習などの地域理解を目的としている。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
平成 21 年 7 月 2 日	三原 一夫 山下 直子 峯俊 千鶴子 川田 正広 高橋 守 竹下 陽子 永井 恵子	1. 文化庁文化語国語課 【日本語教育事業】 募集概要の説明 2. 教材、パンフレット検討 3. 地域に根差した日本語 教育についての意見交 換	【募集方法検討】 ・町内公民館、公共施設 にポスター・パンフレ ット配布 ・外国人受入企業に案 内書送付 【パンフレット選択】 ・2案作成したパンフレッ トの選択、修正 ・外国人対象ということ を明確にするため、 [日本語講座]を各国 の言語で記載する 【地域に根差した日本語 教育について】 ・日本語教育だけではな くまんのう町のことを 学べ、地域の人との

			<p>交流を通し(町民参加型)知り合いや、友達づくりの場を目指す</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の日時・場所を記載したカードを配布する(6 ページ参照)
平成 21 年 9 月 28 日	三原 一夫 山下 直子 峯俊 千鶴子 高橋 守 竹下 陽子 永井 恵子	1. 学習者の内訳、出席状況報告 2. 学習項目・教材についての意見交換	<p>【学習者の内訳報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母語、来日年数、日本語レベルなど <p>【学習項目・教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者の年齢、日本語レベルに合わせ、同じトピックでもいろいろなパターンを作成する(ルビ付き・ルビなし・分かち書きなど) ・積極的に学べ、意欲がわく教材を作成する
平成 21 年 11 月 30 日	三原 一夫 山下 直子 峯俊 千鶴子 高橋 守 竹下 陽子 永井 恵子	1. 講座終了報告 2. 文化庁事業終了後の日本語教室について 3. 事務局からの報告	<p>【講座終了報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語講座終了後のアンケート結果報告 ・アンケートを踏まえ、今後の日本語講座の方向性を検討 <p>【事務局からの報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書作成について

【写真】



【第 1 回運営委員会】



【第 2 回運営委員会】



【教材検討】

日本語教室設置の流れ

平成21年 7月2日 第1回運営委員会

1. 文化庁文化庁国語課【日本語教育事業】募集概要の説明
2. 教材、パンフレット検討
3. 地域に根ざした日本語教育についての意見交換



パンフレット再作成、配布
その他広報活動

日々のくらしの日本語講座実施
7/21～11/10(火曜コース)
7/23～11/5 (木曜コース)

平成21年 9月28日 第2回運営委員会

1. 第1回運営委員会での修正点、加筆点報告
2. 学習者の内訳、出席状況
3. 学習項目についての意見交換



日々のくらしの日本語講座
11/10火曜コース終了
11/5 木曜コース終了



平成21年 11月30日 第3回運営委員会

運営委員会名簿

氏名	所属及び役職
三原 一夫	まんのう町教育委員会 教育委員長
山下 直子	香川大学教育学部 准教授
峯俊 千鶴子	まんのう町国際交流協会 理事
川田 正広	まんのう町企画政策課長
高橋 守	まんのう町企画政策課(国際交流担当)
竹下 陽子	まんのう町国際交流協会事務局長
永井 恵子	まんのう町国際交流協会 日本語講師

3 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

「日々のくらしの日本語講座」

② 開催場所

まんのう町 神野公民館(火曜コース)

まんのう町 満濃農村環境改善センター(木曜コース)

③ 学習目標

最低限必要な会話の習得と、日本文化という広い観点ではなく在住地域独特の言葉や習慣を学ぶ

④ 使用した教材・リソース

まんのう町オリジナル教材

⑤ 受講者の募集方法

- ・ まんのう町内の各公民館や公共施設にポスター掲示、パンフレット配布依頼
- ・ 外国人受入企業に講座案内書送付
パンフレット (7 ページ参照)

⑥ 受講者の総数 22 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数(回数)

60 時間

(1 回 2 時間 全 15 回)

2 クラス(火曜コース・木曜コース)

【配布カード】

切り離して各学習者に配布。

配布カード（表面）	火曜コース	配布カード（表面）	木曜コース
<p>にほんごこうざ 日本語講座</p> <p>ばしょ かのこうみんかん 場所：神野公民館</p> <p>むりょう 無料</p>		<p>にほんごこうざ 日本語講座</p> <p>ばしょ のうかい 場所：まんのう農改</p> <p>センター</p> <p>むりょう 無料</p>	
配布カード（裏面）	火曜コース	配布カード（裏面）	木曜コース
<p>火曜コース 18:00～ 20:00</p> <p>7月 21・28 8月 4・11・18・25 9月 1・8・15・29 10月 6・13・20・27 11月 10</p>		<p>木曜コース 15:00～ 17:00</p> <p>7月 23・30 8月 6・20・27 9月 3・10・17・24 10月 1・8・15・22・29 11月 5</p>	

【配布】

2009 がいこくじん 外国人のための

Classes de japonais
Jepang Courses
Mga Klase sa Wikang Hapon
Japanese Lectures
日语学习

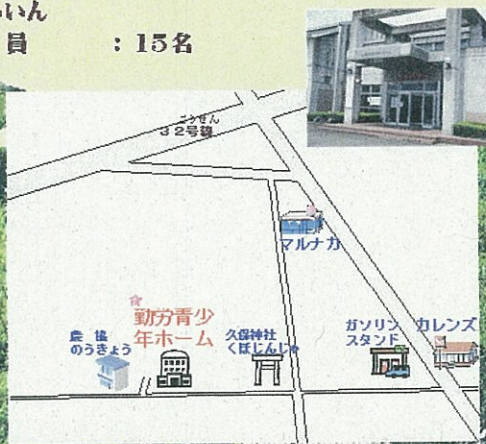
ひびく にほんごこうざ 日々の暮らしの日本語講座 (2コース)

火曜(かよう)コース

じ かん まいしゅうかようび
時 間 : 毎週火曜日18:00~20:00
7/21(火)~11/10(火)の15回

ぼしよ かの こうみんかん
場 所 : 神野公 民 館
じゅこうりょう むりよう
受 講 料 : 無 料

ちょうない がいこくじん たいしょう
町内や ちかくにすんでいる外国人 対象
ていいん
定 員 : 15名



木曜(もくよう)コース

じ かん まいしゅうもくようび
時 間 : 毎週木曜日15:00~17:00
7/23(木)~11/5(木)の15回

ぼしよ
場 所 : まんのうのうかいセンター
じゅこうりょう むりよう
受 講 料 : 無 料

ちょうない がいこくじん たいしょう
町内や ちかくにすんでいる外国人 対象
ていいん
定 員 : 15名



もうしこみ karin@town.manno.lg.jp
まんのう町国際交流協会 (かりん会館内)
0877-75-0200

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者 補助者 人数	内容
①	7月21日 18:00~20:00	2時間	12人	中国・中国語(8人) フィリピン・ タガログ語(2人) ブラジル・ ポルトガル語(2人)	教授者 1人	【学習項目】 自己紹介 学習語彙 (国名、色)
②	7月23日 15:00~17:00	2時間	8人	中国・中国語(6人) ブラジル・ ポルトガル語(2人)	教授者 1人	【使用教材】 オリジナル教材
③	7月28日 18:00~20:00	2時間	7人	中国・中国語(7人)	教授者 1人	【学習項目】 お知らせプリントの 見方
④	7月30日 15:00~17:00	2時間	2人	フィリピン・ タガログ語(1人) ブラジル・ ポルトガル語(1人)	教授者 1人	まんのう町について 学習語彙 (食べ物・数字) 【使用教材】 オリジナル教材
⑤	8月4日 18:00~20:00	2時間	6人	中国・中国語(5人) フィリピン・ タガログ語(1人)	教授者 1人	【学習項目】 交通標識 町広報インタビュー 記事
⑥	8月6日 15:00~17:00	2時間	3人	中国・中国語(1人) フィリピン・ タガログ語(1人) ブラジル・ ポルトガル語(1人)	教授者 1人 補助者 1人	方言学習 (おなかがおきる) 学習語彙 (動詞、行事) 【使用教材】 オリジナル教材
⑦	8月11日 18:00~20:00	2時間	3人	中国・中国語(2人) フィリピン・ タガログ語(1人)	教授者 1人 補助者 1人	【学習項目】 日本の年中行事 学習語彙 (動詞、行事)

⑧	8月20日 15:00~17:00	2時間	2人	フィリピン・ タガログ語(1人) カナダ・英語(1人)	教授者 1人	【使用教材】 オリジナル教材
⑨	8月18日 18:00~20:00	2時間	7人	中国・中国語(6人) フィリピン・ タガログ語(1人)	教授者 1人 補助者 1人	【学習項目】 学校の時間割、教科 方言学習 (机かいて)
⑩	8月27日 15:00~17:00	2時間	2人	フィリピン・ タガログ語(2人)	教授者 1人 補助者 1人	学習語彙 (形容詞、教科・時間 割、休み時間の動詞) 【使用教材】 オリジナル教材
⑪	8月25日 18:00~20:00	2時間	4人	中国・中国語(3人) フィリピン・ タガログ語(1人)	教授者 1人 補助者 1人	【学習項目】 病院の受付にて 問診票の書き方 若者言葉(まじ!?)
⑫	9月3日 15:00~17:00	2時間	2人	フィリピン・ タガログ語(2人)	教授者 1人 補助者 1人	学習語彙(各病院名、 医療器具名、症状名、 体の名称) 【使用教材】 オリジナル教材
⑬	9月1日 18:00~20:00	2時間	10人	中国・中国語(8人) フィリピン・ タガログ語(2人)	教授者 1人 補助者 1人	【学習項目】 電話のかけ方 スポーツについて 地元新聞の記事を読 む
⑭	9月10日 15:00~17:00	2時間	2人	フィリピン・ タガログ語(2人)	教授者 1人 補助者 1人	学習語彙 (スポーツ) 【使用教材】 オリジナル教材
⑮	9月8日 18:00~20:00	2時間	4人	中国・中国語(4人)	教授者 1人 補助者 1人	【学習項目】 ごみの出し方 分別方法・収集日 学習語彙

⑮	9 月 17 日 15:00~17:00	2 時間	2 人	フィリピン・ タガログ語(2 人)	教授者 1 人	(ごみの名前) 【使用教材】 オリジナル教材
⑯	9 月 15 日 18:00~20:00	2 時間	6 人	中国・中国語(5 人) フィリピン・ タガログ語(1 人)	教授者 1 人 補助者 1 人	【学習項目】 日本の学校について 学校行事・制服 方言学習(えらい)
⑰	9 月 24 日 15:00~17:00	2 時間	3 人	中国・中国語(1 人) フィリピン・ タガログ語(2 人)	教授者 1 人 補助者 1 人	学習語彙 (学校行事、職業) 【使用教材】 オリジナル教材
⑱	9 月 29 日 18:00~20:00	2 時間	3 人	中国・中国語(2 人) フィリピン・ タガログ語(1 人)	教授者 1 人 補助者 1 人	【学習項目】 好きな数字・嫌いな数 字、心理テスト 学習語彙(生活用品、
⑲	10 月 1 日 15:00~17:00	2 時間	3 人	中国・中国語(1 人) フィリピン・ タガログ語(2 人)	教授者 1 人	学用品、職業) 方言学習(こわい) 【使用教材】 オリジナル教材
⑳	10 月 6 日 18:00~20:00	2 時間	7 人	中国・中国語(6 人) フィリピン・ タガログ語(1 人)	教授者 1 人 補助者 1 人	【学習項目】 仕事について 方言学習 (ごじゃはげ)
㉑	10 月 8 日 15:00~17:00	2 時間	2 人	フィリピン・ タガログ語(2 人)	教授者 1 人	学習語彙 (服の名前、建物・街) 【使用教材】 オリジナル教材
㉒	10 月 13 日 18:00~20:00	2 時間	2 人	中国・中国語(2 人)	教授者 1 人 補助者 1 人	【学習項目】 各国の結婚式 日本の結婚式 方言学習
㉓	10 月 15 日 15:00~17:00	2 時間	2 人	フィリピン・ タガログ語(2 人)	教授者 1 人	(こらえんぞ) 【使用教材】 オリジナル教材

②⑤	10月20日 18:00~20:00	2時間	4人	中国・中国語(4人)	教授者 1人 補助者 1人	【学習項目】 香川の観光地① 方言学習(まがるき ん、よけといてつか)
②⑥	10月22日 15:00~17:00	2時間	2人	フィリピン・ タガログ語(2人)	教授者 2人	【使用教材】 オリジナル教材
②⑦	10月27日 18:00~20:00	2時間	1人	ブラジル・ ポルトガル語(1人)	教授者 1人 補助者 1人	【学習項目】 香川の観光地② 学習語彙(動詞) 【使用教材】 オリジナル教材
②⑧	10月29日 15:00~17:00	2時間	2人	ブラジル・ ポルトガル語(2人)	教授者 2人 補助者 1人	
②⑨	11月10日 18:00~20:00	2時間	5人	中国・中国語(3人) フィリピン・ タガログ語(1人) ブラジル・ ポルトガル語(1人)	教授者 1人 補助者 1人	【学習項目】 料理・家事について すき焼きの作り方 だしの取り方 野菜の切り方
③⑩	11月5日 15:00~17:00	2時間	2人	フィリピン・ タガログ語(2人)	教授者 2人	方言学習(はじかい) 【使用教材】 オリジナル教材

特徴的な授業風景



【火曜コース】



【木曜コース】

【第 3・4 回】 まんのう町について、お知らせプリントの見方

実際に住んでいるまんのう町について学習した。その講座の中で、実際に困ったことや分からないことがあるときの連絡先を伝えた。今まで具体的な相談場所が分からなかった学習者に相談場所を伝えることができた。

実際に学校や町役場から配布される案内をそのまま教材に使用し、どの部分が重要箇所か説明した。

【第 7・8 回】 日本の年中行事

日本のいろいろな年中行事について学習した。日本の行事を学ぶとともに、お互いの国の行事についても学習できた。

【第 11・12 回】 病院

病院での場面を想定し、よく聞かれる項目を問診票に盛り込んだ。同時に、体の部位や医療器具の名称も学習した。実際に通院している学習者もあり、いざという時のために必要な内容が学習できた。

【第 29・30 回】 料理

実際にすき焼きの材料を講座に持ち込み、まずこれで何を作るか学習者に考えてもらった。すき焼きの材料とすぐに分かった学習者も、焼き豆腐は使用したことがなかったり、焼き豆腐の食べ方を知らない学習者もいて、発見が多い講座だった。

野菜の切り方やだしの取り方は、学習者には少し難しいかと思ったが、日本人配偶者の外国人女性は実際に昆布からだしを取っていた。最後の回ということで、お互いに料理の話や家庭のことなど楽しい学習時間が持てた。

【方言学習・若者言葉】

分かりやすいイラストで、香川の方言学習をした。方言を学習することで、職場や家族との会話が広がったようだ。方言と知らずにすでに使用していた学習者もあり、新たな発見が多い学習だった。

第 5・6 回	おなかがおきる	(おなかがいっぱい)
第 9・10 回	机かいて	(机運んで)
第 11・12 回	まじ！？	(本当！？)
第 17・18 回	えらい	(疲れた)
第 19・20 回	[このせんべい]こわい	[このせんべい](かたい)
第 21・22 回	ごじゃはげ	(滅茶苦茶)
第 23・24 回	こらえんぞ	(許さんぞ)
第 25・26 回	まがるきん、よけといてつか	(邪魔になるから、よけておいて下さい。)
第 29・30 回	[このセーター]はじかい	[このセーター](チクチクする)

教室で使用した教材の一部抜粋したものを提出します。(別添 資料 1 参照)

【全体を通して】

既婚者、また女性が多かったため、共通の話題をおしゃべり感覚で話せる内容にした回もあった。15回コースだったので、学習者が講座になじんだ頃に、心理テスト(第19・20回)や自身の結婚式・プロポーズ(第23・24回)などについても楽しみながら学習できた。通常の学習より、発話回数や積極性が高まった。

また香川の観光地(第25～28回)を紹介する際には、実際のパンフレットなどを使用して学習した。その講座後に、実際に家族で行った学習者もあり、生活に根付いた学習ができた。

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
吾妻 マルシア	ポルトガル語 (ブラジル)	3年	2回	通訳

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
山下 直子	香川大学	日本語教育 日本語学	2回	講師
峯俊 千鶴子	まんのう町国際 交流協会	日本語指導経験者	1回	講師
永井 恵子	まんのう町国際 交流協会	日本語教育能力検定 試験合格	30回	講師
西川 亜里	まんのう町国際 交流協会	生活科学部 養護保健学科	12回	講義補助者

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

日本語学習だけではなく、日本での生活マナーや習慣、方言の学習ができた。

比較的同年代が多く、女性の場合は全員が既婚者のため、共通の話題を多く持て、話しやすい雰囲気を作ることができた。そのため、学習者はリラックスした状態で授業を受けることができた。

他の国の学習者と接することで、お互いの国の文化や習慣を日本語で紹介するなど相互の国への理解が深まった。

補助者が加わることで、レベルの違う学習者に対応することができた。

② 学習者の習得状況

それぞれのコースで日本語学習への意欲が高まり、一定の成果が出た。

- ・当初はひらがな・カタカナが苦手な日本語学習に苦手意識を持っていた学習者が、日本に対する興味や他の学習者からの影響で、学習意欲が高まった。
- ・平成 21 年度の日本語能力試験を受験し、日本語学習に意欲的に取り組んでいる。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

事前に都合のよい時間や曜日を調査後に日本語教室を設置したため、既存の日本語講座に時間的に通えないという学習者の要望にこたえることができた。

15 回という少ない回数だったが、学習者が比較的少人数のため、それぞれの個人的な話を聞き、相談に応じることができた。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

国際交流協会主催の国際運動会やクリスマス会に参加。それにより、日本語教室に通っていない他の外国人や地域住民との交流を図ることができた。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

日本語学習を経験したことがある学習者が多かったが、まったく初めての学習者もいた。その場合、同じテキストで同じ方法で学習するということが困難なため、支援者の増加が必要だ。

b. 今後の課題

初学者の短期での日本語習得を目指し、媒介語が使用できる指導者が望まれる。

学習者のレベルに合わせ、直接法と間接法を使い分ける必要性がある。

c. 今後の活動予定、展望

学習者の日本語教室継続の要望から、木曜コースは継続して実施している。

火曜コースも平成 22 年 3 月から開始される。

すべての学習希望者の希望時間、学習場所に対応することは難しいが、新たに調査をし、対応できるように検討する。

③ その他参考資料

- ・ 講座終了後アンケート (別添 資料 2 参照)
- ・ 四国新聞掲載記事 (別添 資料 3 参照)
- ・ 運営委員による原稿を提出します (別添 資料 4 参照)